

# 平成 30 年度社会福祉法人久慈市社会福祉事業団事業報告

## I 運営の概要

久慈市社会福祉事業団は、平成 15 年 3 月に久慈市により設立され、特別養護老人ホームぎんたらず久慈、養護老人ホーム養寿荘のほか、大川目地区、元気の泉、山根地区、宇部地区のデイサービスセンター等について、久慈市から指定管理者の指定を受けて利用者の利便性とサービスの質の向上に努めてきたところである。

また、平成 28 年度に久慈市から事業譲渡を受け、新たに「居宅介護支援事業」、「訪問介護事業」、「訪問入浴介護事業」、「居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業（障害者）」の 4 事業を直営事業として開始したところである。

一方では、平成 27 年度の介護保険法の改正に伴う介護報酬単価の見直しにより、基本報酬単価が大幅に減額改定されるなど、介護保険サービス事業所は厳しい財政状況にある。また、介護業界は全国的に人材が不足しており、職員が疲弊し離職者が増加する傾向にある。

なお、平成 30 年度から指定管理事業所の大川目地区及び宇部地区デイサービスセンターについては、通常規模型通所介護<sup>i</sup>から「地域密着型通所介護」<sup>ii</sup>へ区分を移行し、直営事業所の元気の泉訪問介護事業所については、職員の効率的配置の視点から事業を休止し、事業全体の効率性の見直しを図ったところである。

このような中、一層効率的な運営に努めるとともに、基本理念の「利用者の尊厳及び人権を尊重し、その人らしい人生を大切にする」、「利用者の願いや要求に真摯に向き合い、理解し、共感する」、「利用者本位の自立・自己実現・自己決定の過程を支援する」ことに則り、『あんしんきょうせい安信共誠』を標語に掲げ、一層利用者の利便性とサービスの質の向上に努めた。

- ・利用者が「安」心できる施設を目指します。
- ・家族に「信」頼される施設を目指します。
- ・地域と「共」に歩み、共存する施設を目指します。
- ・職員は「誠」実なサービスを目指します。

(法人は職員に誠実な対応を目指します)

## II 重点目標

- (1) 介護分野における人材確保が厳しい状況に鑑み、職員の定着を図るため、処遇改善に努めた。
- (2) 多様な利用者のニーズに応える質の高いサービス提供をするため、職員の研修制度を拡充した。
- (3) 介護報酬等について、各種加算を受けられるよう体制を整備した。
- (4) 社会福祉法人制度改革に伴い、法人の持つ公益性に鑑み、経営組織のガバナンスの強化及び事業運営の透明性の充実に努めた。

### Ⅲ 事業運営

#### 1 事業団事務局

事業団の理事会、評議員会の開催及び出納調査を実施し、適正な法人運営に努めた。

平成 30 年度から新たに評議員選任・解任委員会を開催し、適正な選任に努めた。

また、各施設に苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図るため情報交換会を開催したほか、各種事業を下記のとおり実施した。

(1) 理事会（定数：理事 6 名、監事 2 名）

理 事	遠藤譲一、中居正剛、皆川隆夫、日當光男、久慈匡弘、小向秀美
監 事	石渡高雄、佐々木信蔵

理事のうち 3 名は、久慈市長、久慈市副市長及び久慈市生活福祉部長の職にある者を選定。

<理事会の職務>

- ①法人の業務執行の決定
- ②理事の職務の執行の監督
- ③理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職

会 議 名	期 日	主 な 内 容
第 1 回理事会	平成 30 年 4 月 25 日	・ 職員の申出に基づく降任制度実施要領の制定及び給与規程等の一部改正について（報告） ・ 評議員選任候補者の推薦について ・ 第 1 回評議員選任・解任委員会の招集について
第 2 回理事会	平成 30 年 5 月 30 日	・ 評議員の選任結果について（報告） ・ 事業報告について ・ 決算について ・ 資金収支補正予算（第 1 号）について ・ 第 1 回定時評議員会の開催について
第 3 回理事会	平成 30 年 9 月 14 日	・ 大川目地区デイサービスセンター通所介護事業運営規程等の一部改正について（報告） ・ 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び老人デイサービスセンター（大川目地区）の指定管理者募集への応募について ・ 元気の泉デイサービスセンター・山根地区デイサービスセンター・宇部地区デイサービスセンターグループの指定管理者募集への応募について
第 4 回理事会	平成 30 年 12 月 26 日	・ 準職員及び臨時職員等の雇用等に関する規程の一部改正について（報告） ・ 資金収支補正予算（第 2 号）について

第5回理事会	平成31年3月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について(報告)</li> <li>・ 資金収支補正予算(第3号)について</li> <li>・ 事業計画について</li> <li>・ 資金収支予算について</li> </ul>
--------	------------	---

(2) 評議員選任・解任委員会（構成：監事1名、職員1名、外部委員2名の合計4名）

監事	佐々木信蔵
職員	泉澤民義
外部委員	向川智之、古山誠

<評議員選任・解任委員会の職務>

① 評議員の選任及び解任

会議名	期日	主な内容
第1回評議員選任・解任委員会	平成30年5月7日	・ 評議員の補充選任について

(3) 評議員会（定数：7名）

評議員	村田東助、高屋敷真喜子、伊藤武男、小倉明、下道喜佐雄、木戸口敏男、根井元
-----	--------------------------------------

<評議員会の職務>

- ① 理事及び監事の選任又は解任の決議
- ② 理事及び監事の報酬等の額の決議
- ③ 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準の決議
- ④ 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認の決議
- ⑤ 定款の変更の決議
- ⑥ 残余財産の処分の決議
- ⑦ 基本財産の処分の決議
- ⑧ 社会福祉充実計画の承認の決議
- ⑨ その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項の決議

会議名	期日	主な内容
第1回定時評議員会	平成30年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業報告について</li> <li>・ 決算について</li> <li>・ 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の承認について</li> </ul>

## (4) 出納調査（監事：2名）

監 事	石渡高雄、佐々木信蔵
-----	------------

会 議 名	期 日	内 容
監 査 第 1 回出納調査	平成 30 年 5 月 16 日	・平成 29 年度事業報告及び会計監査並びに 1 月～3 月までの一般会計執行状況
第 2 回出納調査	平成 30 年 8 月 31 日	・ 4 月～6 月までの会計執行状況
第 3 回出納調査	平成 30 年 11 月 27 日	・ 7 月～9 月までの会計執行状況
第 4 回出納調査	平成 31 年 2 月 25 日	・ 10 月～12 月までの会計執行状況

## (5) 福祉サービスに係る苦情解決事業

第三者委員	佐々木信蔵、高屋敷真喜子、伊藤武男
苦情解決責任者	各施設の施設長
苦情受付担当者	各施設の生活相談員

会 議 名	内 容 等							
	施 設 名	苦 情	目 安 箱	郵 送	要 望 等	計	再掲	
							解 決	継 続 中
情報交換会 (平成 31 年 3 月 18 日)	ぎんたらす久慈				1	1	1	
	養 寿 荘 (特定施設・訪問介護)				1	1	1	
	大川目地区デイサービスセンター				1	1	1	
	元 気 の 泉 (居宅・入浴・ヘルパー)							
	山根地区デイサービスセンター							
	宇部地区デイサービスセンター							
	計					3	3	3

## (6) 各種事業

事 業 名	期 日	内 容
地域公開講演会	平成 31 年 3 月 20 日	・ 講演「高齢者虐待防止について」 講師 久慈市地域包括支援センター 社会福祉士 長内 悠紀 氏 参加者：81 名（うち外部 36 名）

## 2 特別養護老人ホームぎんたらす久慈

### (1) 家族との交流について

家族会を組織し、家族と施設の信頼関係のある運営に努めた。

- ・家族会総会 平成 30 年 5 月 27 日に開催（出席者 6 人）
- ・主な交流行事

夏まつり	8 月 1 日開催	家族 24 人参加
敬老会	9 月 19 日開催	家族 27 人参加

- ・面会状況

延面会者数 (長期・短期)	2,101 人	月平均 (長期・短期)	175.1 人
------------------	---------	----------------	---------

### (2) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生日会 ・お花見ドライブ ・こいのぼりフェスティバル参加 ・夏まつり
- ・敬老会 ・歳末芸能大会見学 ・クリスマス忘年会 ・もちつき ・料理クラブ
- ・男子会(お茶会) ・女子会(お茶会) ・世代間交流(園児との) ・出前会
- ・移動図書館来設

②健康面の管理については、嘱託医による定期診療及び協力病院と連携を図りながら健康の保持、感染症の予防と早期対応に努めた。(健康診断年 1 回)

### (3) ボランティアの受け入れについて

小学生、中学生、高校生のボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに、福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ、利用者との交流を図った。

ボランティア (一般・学生等)	8 件	・傾聴ボランティア 夏祭りボランティア
訪問(一般・学生等)	2 件	・世代間交流
実習(一般・学生等)	7 件	・現場実習、職場体験学習他

### (4) 利用者、家族の意見等の反映について

苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。日常生活においては、担当介護員が中心となり、積極的にコミュニケーションを図り利用者の声を介護に反映させるよう努めた。また、家族には広報の発行や面会時の状況報告を通して信頼関係の確立を図った。

### (5) 食事について

生活の中で楽しみとなる食事については、利用者の身体の状況及び嗜好を考慮するとともに、適時適温とし、季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 21 回 ②麺の日 毎月第 3 火曜日 ③パンの日 毎月第 2・4 木曜日
- ④お好み昼食(選択食) 奇数月第 3 金曜日 ⑤喫茶の日 毎週金曜日
- ⑥嗜好調査 2 回 ⑦残菜調査 2 回

(6) 委員会活動について

内部組織として次の委員会を設置し生活レベルの維持・向上に努めた。

- ①行事委員会 行事、レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②広報委員会 広報の発行、壁紙新聞の作成等を行った。
- ③保健委員会 保健衛生・健康管理に関する活動を行った。
- ④排泄委員会 排泄ケアに関する活動を行った。
- ⑤環境委員会 居室環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
- ⑥リスクマネジメント委員会 安全確保、身体拘束廃止の推進等の活動を行った。
- ⑦褥瘡対策委員会 褥瘡発生防止、褥瘡ケアに関する活動を行った。
- ⑧感染対策委員会 感染症の防止、発生時の対策に関する活動を行った。
- ⑨事故防止検討委員会 事故防止、発生時の対応に関する活動を行った。
- ⑩喀痰吸引等に係る安全委員会 喀痰吸引等の安全対策に関する活動を行った。
- ⑪身体拘束適正化委員会 身体的拘束の適正化策に関する活動を行った。

(7) 職員の資質向上について

内部研修を開催するとともに、外部研修への積極的な参加に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会・会議等参加状況 87回
- ②内部研修会開催状況 15回

(8) 利用者の状況について

①月別入退所状況

平成31年3月31日現在(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分													
月初入所人員数	49	50	50	50	50	50	49	49	48	50	49	49	593
入所	1			2	1	1	1	1	4	1	2	1	15
退所				2	1	2	1	2	2	2	2	2	16
うち末日退所													
月末入所人員	50	50	50	50	50	49	49	48	50	49	49	48	592

月初入所人員数には初日入所者を含む。月末入所人員には末日退所者を含む。

②前住地別入所者状況

(単位:人)

区分	現 員			平成30年度異動状況									
				入 所			退 所						
	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
市町村													
久慈市	13	32	45	4	9	13	5	10	15				
野田村		2	2		1	1							
二戸市								1	1				
岩手郡葛巻町	1		1	1		1							
計	14	34	48	5	10	15	5	11	16				

③年齢別利用者状況

(単位：人)

区分	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男		1	1	6	1	2	3			14
女	1	2	1	1		13	10	5	1	34
計	1	3	2	7	1	15	13	5	1	48

④介護度別利用状況

(単位：人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1		1	7	5	14
女		2	4	17	11	34
計	1	2	5	24	16	48

⑤年間利用状況

(単位：人)

	30年度	29年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.2	49.6	△0.4	99.2
利用延べ人員	17,954	18,103	△149	99.2

(9)短期入所生活介護事業について

指定居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに基づくサービスの提供に努めた。

①短期入所者利用状況

平成31年3月31日現在 (単位：人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	26	28	28	28	25	25	26	27	27	26	21	23	310
延べ利用者数	301	323	331	340	324	325	299	311	361	352	275	304	3,846
1日平均利用者数	10.0	10.4	11.0	11.0	10.5	10.8	9.6	10.4	11.6	11.4	9.8	9.8	10.5

定員10名であるが、長期入所者が入院した場合は、空きベッドを利用して短期利用者を受入れている。

②年間利用状況

(単位：人)

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	10.5	10.0	0.5	105.0
利用延べ人員	3,846	3,666	180	104.9

### 3 養護老人ホーム養寿荘

入所者の社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導及び訓練などで援助を行うとともに、その有する能力に合わせた自立を目指すものとして日常生活の支援を行った。

処遇計画を作成し、その計画に基づき施設生活における自立支援を目指し、家事・生活援助と軽微な介護サービスを行った。

#### (1) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生会(毎月開催) ・どんぐり喫茶 ・お茶会 ・花見会 ・遠足 ・園児交流会
- ・ドライブ ・音楽の祭典 ・収穫祭 ・学校交流会 ・敬老会
- ・大川目町郷土祭(作品出展) ・クリスマス会 ・餅つき ・みずき団子づくり
- ・豆まき ・ひなまつり

②健康面の管理について

嘱託医及び協力病院と連携を図りながら早期対応に努めた。

健康診断を5月・11月の2回実施した。

#### (2) 入所者、家族の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約に努めた。

電話連絡や面会時の報告を多くすることで家族とのコミュニケーションの醸成に努めた。

#### (3) ボランティアの受け入れについて

ボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ利用者との交流を図った。

ボランティア	16件	・踊り・庭園等整備
訪問(学生等)	4件	・踊り・交流等

#### (4) 食事について

食事を楽しんでいただけるよう入所者の身体の状態及び栄養の状態を把握し、嗜好に配慮した季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 34回 ②選択食 17回 ③嗜好調査 2回 ④残菜調査 2回
- ⑤手作りおやつ(調理) 8回

#### (5) 委員会活動について

内部組織として、次の委員会を設置し生活の向上に努めた。

- ①行事・レク委員会 行事・レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②リスク委員会 事故防止の検討、身体拘束廃止推進等を行った。
- ③環境委員会 生活環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
- ④感染症委員会 感染症予防対策等を行った。
- ⑤排泄委員会 排泄介助の見直しを行った。

(6) 職員の資質向上について

外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 28回
- ②内部研修会参加状況 3回
- ③(内部)復命研修 8回

(7) 入所者の状況について

①月別入退所状況

平成31年3月31日現在(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	49	50	50	50	49	50	50	50	50	49	50	50	597
月中入所	1	1	1	1	2	2				1			9
月中退所		1	1	2	1	2			1			1	9
月末入所人員	50	50	50	49	50	50	50	50	49	50	50	49	597

②前住地別入所者状況

(単位:人)

区分	現 員			平成30年度異動状況						
				入 所			退 所			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市町村										
久慈市	11	28	39	4	4	8	4	4	8	
洋野町		4	4							
野田村	2	3	5	1		1		1	1	
普代村		1	1							
計	13	36	49	5	4	9	4	5	9	

③年齢別利用者状況

(単位:人)

区分	~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	計
男		2	1	2	4	4				13
女		2	3	4	7	11	7	1	1	36
計		4	4	6	11	15	7	1	1	49

④月別面会状況

(単位:人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会者数	26	24	20	27	37	20	17	22	21	17	11	25	267	22.3

⑤年間利用状況

(単位:人)

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.9	49.5	0.4	100.8
利用延べ人員	18,208	18,064	144	100.8

#### 4 養寿荘特定施設入居者生活介護事業所

介護保険法及び老人福祉法の改正に伴い、平成18年10月より特定施設入居者生活介護事業所の指定を受け、養護老人ホームの入所者は介護保険による居宅介護サービスを利用することとなり、サービス事業者との契約により施設サービスの一部について外部居宅介護サービス事業者から介護保険サービスの提供を受けている。利用している居宅サービスは訪問介護及び通所介護となっている。

##### ①サービス別利用状況

平成31年3月31日現在(単位:人)

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	28	37	37	37	37	36	37	37	37	36	36	37	432
	通所介護	7	7	8	8	8	7	6	6	6	8	7	7	85
要支援者	訪問介護													0
	通所介護													0
計	訪問介護	28	37	37	37	37	36	37	37	37	36	36	37	432
	通所介護	7	7	8	8	8	7	6	6	6	8	7	7	85

##### ②サービス別利用状況延べ人数

(単位:人)

区分			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	身体介護	4,899	4,918	4,876	4,916	4,819	4,608	4,829	4,862	4,887	4,665	4,178	4,520	56,977
		生活援助	21	21	35	33	35	67	56	99	103	93	73	101	737
	通所介護	60	61	60	52	51	36	27	31	27	32	28	37	502	
要支援者	訪問介護	身体介護													
		生活援助													
	通所介護														
計	訪問介護	身体介護	4,899	4,918	4,876	4,916	4,819	4,608	4,829	4,862	4,887	4,665	4,178	4,520	56,977
		生活援助	21	21	35	33	35	67	56	99	103	93	73	101	737
	通所介護	60	61	60	52	51	36	27	31	27	32	28	37	502	

##### ③介護度別利用状況

(単位:人)

区分	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	計
	1	2	1	2	3	4	5	
男	1	1	6	1	3	2		14
女	1		7	7	5	5	1	26
計	2	1	13	8	8	7	1	40

##### ④年間利用状況

(単位:人)

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	56,977	54,862	2,115	103.9
生活援助延べ人数	737	249	488	296.0
通所介護延べ人数	489	1,286	△797	38.0

## 5 養寿荘訪問介護事業所

平成 19 年 10 月より訪問介護事業所の指定を受け、訪問介護サービスの提供を行った。

### ①サービス別利用状況

平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位: 人)

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	28	37	37	37	37	36	37	37	37	36	36	37	432
要支援者													
計	28	37	37	37	37	36	37	37	37	36	36	37	432

### ②サービス別利用状況延べ人数

(単位: 人)

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
要介護者	身体介護	4,899	4,918	4,876	4,916	4,819	4,608	4,829	4,862	4,887	4,665	4,178	4,520	56,977
	生活援助	21	21	35	33	35	67	56	99	103	93	73	101	737
要支援者	身体介護													
	生活援助													
計	身体介護	4,899	4,918	4,876	4,916	4,819	4,608	4,829	4,862	4,887	4,665	4,178	4,520	56,977
	生活援助	21	21	35	33	35	67	56	99	103	93	73	101	737

### ③介護度別利用状況

(単位: 人)

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	1	1	6	1	3	2		14
女	1		7	7	5	5	1	26
計	2	1	13	8	8	7	1	40

### ④年間利用状況

(単位: 人)

	30 年度	29 年度	増減	対前年度(比)
身 体 介 護 延 べ 人 数	56,977	54,862	2,115	103.9
生 活 援 助 延 べ 人 数	737	249	488	296.0

## 6 デイサービスセンター（大川目地区・元気の泉・山根地区・宇部地区）

### (1)大川目地区デイサービスセンター

・平成30年度から地域密着通所介護事業所へと移行し、サービス提供時間を6～7時間と7～8時間の混合型での営業として、利用者のサービス向上に努めた。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。

### (2)元気の泉デイサービスセンター

・従来から実施している重度の要介護者の受け入れを積極的に行った他、新たに認知症加算を算定し、利用者のサービス向上に努めた。

また、山根地区デイサービスセンターへ配食を継続し、事業団のスケールメリットを生かした運営を行った。

### (3)山根地区デイサービスセンター

・元気の泉デイサービスセンターからの給食により、より利用者の状態にあった食事を提供することができた。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。

### (4)宇部地区デイサービスセンター

・平成30年度から地域密着通所介護事業所へと移行し、サービス提供時間が1時間ごとに細分化されたことに伴い、サービス提供時間を拡大することで利用者のサービス向上に努めた。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。

### (5)共通実施項目

#### ①計画的な運営管理の維持と実施体制の充実

・送迎については、乗降時の見守り、支援による安全、安心な乗降と、送迎計画を毎月見直すこと等により、可能な限り利用者の希望に沿った送迎体制をとるよう努めた。

また、送迎計画を基に安全な送迎の実施を行った。

・健康確認については、バイタルチェック（体温、血圧、脈拍等）を行うことで、適切な健康状態の把握と対応に努めた。また、体調不良者については、家族及び担当ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めた。

・入浴については、利用者及び家族の利用目的の一つが入浴希望となっていることから、利用者の状態に合わせた入浴の実施に努めた。

・食事については、栄養士及び調理員が連携し、利用者の身体状況に合わせ栄養、嗜好も考慮し、季節感のある食事の提供に努めた。

- ・感染症対策として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、感染の防止に努めた。また、インフルエンザ流行時には文書にて利用者、家族に注意を呼び掛けた。

#### ②通所介護計画等による適切なサービスの提供

- ・利用者ごとに担当者を決め、担当職員が中心となり個別のケアプランを作成した。このケアプランを基に担当ケアマネジャー等との連携を図り支援内容の充実に努めた。
- ・毎日、朝、夕のミーティングを実施して、利用者の情報を共有し、職種間のスムーズな連携に努めた。

#### ③利用者及び家族等に対する支援体制の充実

- ・連絡帳の活用や送迎時等、家族との情報交換を実施することで、利用者の健康状態等の把握に努めた。

#### ④開かれた施設づくりと、地域との連携強化

- ・開かれた施設づくりを目指して地域との連携強化に努め、元気の泉デイサービスセンターではボランティアの受け入れを行った。
- ・大川目地区デイサービスセンターでは、併設の養護老人ホーム養寿荘との交流の機会を持つことで地域との交流を図った。
- ・山根地区デイサービスセンター並びに宇部地区デイサービスセンターでは地域の文化祭への参加を行った。

### (6)レク活動について

季節行事などを積極的に取り入れ実施した。

また、機能訓練としても位置付け、体操との整合性や運動性が図れるプログラムにより実施した。

### (7)利用者の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。

### (8)職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

①外部研修会参加状況 12回

②内部研修会参加状況 2回

### (9)デイサービスセンター間の連携

相談員会議を毎月1回実施し、各デイサービスセンター間の情報交換を行うことで、事業運営、業務の効率化を図った。

(10) 利用状況について

①月別利用状況（1日当たり利用人員）

平成31年3月31日現在（単位：人）

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	13.1 (1.9)	13.2 (2.1)	△0.1	99.2
元気の泉デイサービスセンター	17.8	18.1	△0.3	98.3
山根地区デイサービスセンター	11.2	10.9	0.3	102.8
宇部地区デイサービスセンター	15.0 (0)	16.5 (2.0)	△1.5	90.9
計	57.1 (1.9)	58.7 (4.1)	△1.6	97.3

( ) 内は、養寿荘利用者

②年間利用状況（利用延べ人員）

（単位：人）

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	3,536 (502)	4,077 (659)	△541	86.7
元気の泉デイサービスセンター	6,381	6,483	△102	98.4
山根地区デイサービスセンター	2,872	2,802	70	102.5
宇部地区デイサービスセンター	4,609 (0)	5,090 (627)	△481	90.6
計	17,398 (502)	18,452 (1,286)	△1,054	94.3

( ) 内は、養寿荘利用者

## 7 元気の泉居宅介護支援事業所

利用者の委託を受け、心身の状況その置かれている環境等に応じて、利用者の意向に沿った居宅サービス計画を作成し、適切なサービスが提供されるようサービス事業者との連絡調整を図った。

### (1) 業務内容について

- ①介護サービス及び介護予防サービス（介護予防・日常生活総合事業）のケアプラン作成をした。
- ②利用者及びサービス提供等に関する定期会議を開催した。
- ③24時間連絡受付及び相談対応体制の確保を図った。

### (2) 職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 42回
- ②内部研修会参加状況 2回

### (3) 利用状況について

#### ①月別・介護度別利用者数 (単位：人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	57
要支援1	6	6	6	5	7	7	7	7	6	6	6	6	75
要支援2	14	14	13	14	12	13	15	15	15	14	14	14	167
要介護1	55	58	54	57	60	63	64	62	60	57	60	56	706
要介護2	32	34	35	32	32	31	30	28	31	32	37	38	392
要介護3	20	20	19	20	24	23	26	27	26	24	22	23	274
要介護4	17	16	18	18	17	16	14	15	16	13	14	13	187
要介護5	5	5	6	3	2	3	4	4	5	4	4	5	50
計	154	158	156	154	159	161	165	163	164	154	161	159	1,908

※事業対象者は「介護予防・日常生活総合事業」の対象者。(平成28年10月より開始)

#### ②年間利用状況(居宅介護支援事業所) (単位：人)

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	1,908	1,730	178	110.3

#### ③利用者及びサービス提供等に関する定期会議の実施(事例検討を含む)

回数40回(概ね週1回実施、介護支援専門員4名・施設長1名・主任事務員1名)

#### ④24時間連絡受付及び相談対応件数 34件

## 8 元気の泉（訪問入浴介護事業所・ヘルパーステーション）

訪問入浴介護計画に基づき、要介護者等の心身の特性を踏まえて、居宅等においてその有する能力に応じ自立した日常生活ができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を行った。

また、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の置かれている環境に応じ、入浴、排泄、食事、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活全般の支援、また、行動援護等を適切かつ効果的に行った。

### (1) 職員の資質向上について

内部研修等を開催し、職員の資質向上を図った。

- ①内部研修会参加状況 2回
- ②外部研修会参加状況 1回
- ③定例会議 12回（毎月1回）

### (2) 利用状況について

#### ①月別利用実績（訪問入浴介護事業所）（単位：人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	11	10	8	8	8	8	8	10	9	8	7	7	102
延人数	36	31	25	28	24	23	27	29	25	25	23	24	320

#### ②年間利用状況（訪問入浴介護事業所）（単位：人）

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	320	431	△111	74.2

#### ③月別利用実績（ヘルパーステーション）（単位：人）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延人数	7	9	8	7	9	8	8	8	2	6	4	7	83

#### ④年間利用状況（ヘルパーステーション）（単位：人）

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	83	124	△41	66.9

## 9 久慈老人福祉センター

### (1) 管理運営について

久慈市から指定管理を受け、施設管理については久慈市シルバー人材センターに管理を再委託するとともに適切な管理に努めた。

#### ① 月別利用実績

(単位：人)

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		60歳以上	男	18	34	41	19	29	23	37	25	25	12	39	47
女	5		4	1	3		1	1	3	6		1	1	26	
計	23		38	42	22	29	24	38	28	31	12	40	48	375	
12歳以上 60歳未満															
6歳以上 12歳未満															
計		23	38	42	22	29	24	38	28	31	12	40	48	375	

#### ② 年間利用状況

(単位：人)

	30年度	29年度	増減	対前年度(比)
利用延べ人数	375	370	5	101.4

## 10 事業所別稼働率

事業所名	定員	平均利用者数及び稼働率			
		28年度 実績	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績
特別養護老人ホーム ぎんたらす久慈	50名	49.3名 (98.6%)	49.6名 (99.2%)	49.5名 (99.0%)	49.2名 (98.4%)
ぎんたらす久慈 短期入所生活介護事業所	10名	10.6名 (106.0%)	10.0名 (100.0%)	10.0名 (100.0%)	10.5名 (105.0%)
養護老人ホーム養寿荘	50名	49.6名 (99.2%)	49.5名 (99.0%)	49.5名 (99.0%)	49.9名 (99.8%)
大川目地区 デイサービスセンター	18名	15.5名 (77.5%)	13.2名 (66.0%)	14.8名 (82.2%)	13.1名 (72.8%)
元気の泉 デイサービスセンター	25名	20.4名 (81.6%)	18.1名 (72.4%)	18.0名 (72.0%)	17.8名 (71.2%)
山根地区 デイサービスセンター	15名	12.2名 (81.3%)	10.9名 (72.7%)	11.0名 (73.3%)	11.2名 (74.7%)
宇部地区 デイサービスセンター	18名	14.0名 (70.0%)	16.5名 (82.5%)	16.8名 (93.3%)	15.0名 (83.3%)
元気の泉 居宅介護支援事業所	—	1,539件	1,730件	1,764件	1,908件
元気の泉 訪問介護事業所	—	685名	659名	休止中	休止中
元気の泉 訪問入浴介護事業所	—	297名	431名	480名	320名
元気の泉 ヘルパーステーション	—	66名	124名	72名	83名

※入所施設（ぎんたらす久慈及び養寿荘）については、月の初日における在所者数の平均値を掲載。

各デイサービスセンターについては1日当たりの利用者数を掲載。（ ）内は稼働率

居宅介護支援事業所については年間の延べ件数、訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所・ヘルパーステーションについては年間の延べ利用者数を掲載。

30年度目標の欄は、予算作成時の利用者数及び件数を掲載。

<sup>i</sup> 通常規模型通所介護…1か月当たりの平均延べ利用者数が301人以上750人以下の通所介護事業所

<sup>ii</sup> 地域密着型通所介護…1日の利用定員が18人以下の通所介護事業所